



平成21年度補正予算概要
中国地方整備局関係(鳥取県内)

鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所

【問い合わせ先】

鳥取河川国道事務所	(技)副所長	<small>かくだ</small> 角田	TEL 0857-22-8435(代)
倉吉河川国道事務所	(技)副所長	<small>よしおか</small> 吉岡	TEL 0858-26-6221(代)
日野川河川事務所	(技)副所長	<small>うえはし</small> 上橋	TEL 0859-27-5484(代)
境港湾・空港整備事務所	(技)副所長	<small>くわな</small> 桑名	TEL 0859-42-3145(代)

平成21年度補正予算（事務所別）

（単位：百万円）

事業部門		平成21年度 補正予算						合計	21年度 (当初)
		鳥取	殿	倉吉	日野川	出雲	境		
河川事業	改修 環境整備 維持修繕 応急対策 小計	578	/	450	295	/	/	1,323	1,575 264 1,466 59 3,364
	砂防事業	/	/	176	100	/	/	276	1,591
海岸事業	海岸 小計	/	/	176	100	/	/	276	1,591
河開 川発 総事 合業	堰堤維持 施設改良 小計	/	/	/	495	/	/	495	624
		/	/	/	495	/	/	495	624
殿ダム建設事業		/	/	/	/	/	/	/	223 97 320
道路事業	地域連携 沿道環境 維持修繕 交通安全 雪寒 電線共同溝 小計	/	/	1,330	/	/	/	3,108	21,379
		1,778	/	320	/	/	/	860	3,001
		540	/	112	/	/	/	387	2,336
		275	/	/	/	/	/	5	92
		5	/	/	/	/	/	/	786
2,598	/	1,762	/	/	/	/	4,360	27,593	
港湾事業	鳥取港 境港 小計	/	/	/	/	/	/	/	801 601 1,402
		/	/	/	/	/	/	/	/
空港事業	美保飛行場 (米子空港) 小計	/	/	/	/	/	385	385	584
		/	/	/	/	/	385	385	584
合計		3,176	0	2,388	1,009	0	385	6,958	43,933

- (注) 1. 出雲河川事務所、境港湾・空港整備事務所は鳥取県関連分のみである。
 2. 事業費には調査費・災害復旧費を含まない。
 3. 上記のほかに附帯・受託工事を施行する。
 4. 事業費は、小数点以下を四捨五入している。
 5. 上記のほかに附帯・受託工事を施行する。

鳥取河川国道事務所

平成 2 1 年度補正予算の概要

鳥取河川国道事務所

1. 河川事業

○千代川改修関連

予算額 578百万円

1) 国英箇所

【資料編 鳥取－1】

千代川右岸国英地区の堤防は堤防高が不足しており、戦後最大相当の洪水が発生した場合には、国道53号及び背後地が浸水する恐れがあることから、堤防高の確保など対策を行います。

平成17年度より事業を実施しており、今回の補正予算の充当により概成します。

2) 袋河原箇所

【資料編 鳥取－2】

千代川左岸袋河原地区の堤防は堤防高不足、河積不足のため、戦後最大相当の洪水が発生した場合には、国道53号及び旧河原市街地が浸水する恐れがあることから、堤防高の確保など対策を行います。

3) 渡一木箇所

【資料編 鳥取－3】

千代川左岸渡一木地区の堤防は、過去に崩落が発生するなど不安定な状況であることから、堤体の安定化と定規断面の確保のため、堤防の質的整備及び断面拡大を実施します。

4) 稲常箇所

千代川右岸稲常地区の堤防について、堤防断面の確保と堤内地への漏水被害の軽減のための対策について実施設計を推進します。

5) 古海箇所

鳥取市古海地先において、戦後最大相当の洪水が発生した場合の流下断面を確保するため、河床掘削を行います。

6) 菖蒲箇所

鳥取市菖蒲地先において、戦後最大相当の洪水が発生した場合の流下断面を確保するため、樹木伐採を行います。

2. 道路事業

○高規格幹線道路関連

予算額 1, 120百万円

1) 一般国道9号 鳥取西道路 (延長19.3km) 【資料編 鳥取-4】

鳥取西道路は、一般国道9号の鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的としたL=19.3kmの自動車専用道路の国道バイパスです。

今回の補正予算の充当により、I期区間の本高地区・松原地区文化財調査のための工事用道路、本高地区・嶋地区改良工事、II期区間の用地買収及び調査設計を行い、事業の推進を図ります。

○地域高規格道路関連

予算額 658百万円

1) 一般国道9号 駈馳山バイパス (延長7.7km) 【資料編 鳥取-5】

駈馳山バイパスは、一般国道9号の岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の交通安全の確保及び峠部の線形不良箇所の解消を目的とする道路です。

今回の補正予算の充当により、海士地区において改良工事を行い、事業の推進を図ります。

○維持修繕関連

予算額 540百万円

1) 一般国道9号 白兔橋補修 【資料編 鳥取-6】

白兔橋は、昭和35年に架設された橋長約9mの橋梁です。当該橋梁は、主桁及び下部工のコンクリート剥離や鉄筋の露出等の損傷が発生しており、この損傷が進行すると、通行に支障をきたす恐れがあります。

今回の補正予算の充当により、上部工及び下部工のコンクリート断面修復等の工事を行い、橋梁の長寿命化を図ります。

2) 防災対策

今回の補正予算の充当により、情報ボックスの耐火防護、要対策法面の調査設計、国道373号志戸坂峠道路の橋梁耐震設計等の防災対策を推進します。

1) 一般国道9号 溝川交差点改良

【資料編 鳥取-7】

溝川交差点は、国道9号と県道伏野覚寺線が合流する交差点です。交差点付近の道路線形が悪く、その影響で続きの単路区間において交通事故が多発しているため、交差点内の道路線形の改良及び歩道の一部拡幅を行い、交通事故の低減と歩行者の安全を確保します。

今回の補正予算の充当により、設計に着手し、早期に交通の安全確保を図ります。

2) 一般国道9号 馬場地区歩道整備

【資料編 鳥取-8】

岩美町馬場に位置する当該区間は、国道9号の県境付近に位置する区間で、現在両側に歩道がなく、歩行者の通行に支障が出ているため、歩道を整備し、歩行者の安全を確保します。

今回の補正予算の充当により、設計に着手し、早期に交通の安全確保を図ります。

3) 一般国道29号 大門地区歩道整備

【資料編 鳥取-9】

八頭町大門に位置する当該区間は、国道29号の上り線にしかない歩道の幅員が1.8mと狭く、歩行者の通行に支障が出ているため、現況歩道の拡幅を行い、歩行者の安全を確保します。

今回の補正予算の充当により、工事に着手し、早期に交通の安全確保を図ります。

4) 交通安全施設の整備

今回の補正予算の充当により、防護柵の設置等交通安全施設の整備を推進します。

5) 道路情報設備の整備

今回の補正予算の充当により、道路情報板の無停電化対策、I T Vカメラの整備等道路情報設備の整備を推進します。

倉吉河川国道事務所

平成21年度事業の概要（補正予算）

倉吉河川国道事務所

1. 河川事業

予算額 450百万円

天神川改修は、昭和9年9月洪水（室戸台風）の実績流量をもとに築堤、掘削、護岸を重点に進めてきました。

平成21年度の補正予算は、近年の異常洪水に対する出水対策として、高水護岸、堤防質的整備、河床整備、堤防天端舗装を実施します。

1) 高水護岸整備（上井箇所・大塚箇所）

【資料編 倉吉-1】

天神川において、近年の異常洪水に対する堤防強化として、上井箇所及び大塚箇所の高水護岸を整備します。

2) 堤防質的整備（羽合箇所・北条箇所）

天神川水系の堤防詳細点検において、要対策区間である羽合箇所、北条箇所の築堤（腹付け盛土）を実施します。併せて、天神川水系全川において、雨水による堤防の浸透崩壊対策として、堤防天端舗装を実施します。

3) 河床整備（国府箇所）

国府川において、戦後最大流量の河道を確保するため、国府箇所の河床掘削及び河道内樹木伐採を実施します。

2. 砂防事業

予算額 176百万円

天神川水系の直轄砂防事業は、昭和9年9月の室戸台風災害を契機に昭和11年から継続実施しており、平成20年度末までに、砂防堰堤34基、床固工5基、溪流保全工約13.7kmが完成しています。

平成21年度の補正予算は、倉吉市関金町において小鴨川支川 小泉谷川の砂防堰堤及び長谷川の砂防堰堤をそれぞれ促進します

また、三朝町においては、天神川支川 福本川の砂防堰堤を促進します。

1) 小泉2号砂防堰堤

【資料編 倉吉-2】

関金町小泉地先 小泉谷川において、土石流及び流木被害を防止する基幹施設として、平成17年度より着手しており、溪流保全工を完成します。

2) 堀2号砂防堰堤

関金町堀地先 長谷川において、既設砂防堰堤の流出土砂調節機能の向上を目的として砂防堰堤の改良工事を完成します。

3) 福本砂防堰堤

三朝町福本地先 福本川において、土石流及び流木被害を防止する基幹施設として、平成20年度より着手しており、付替道路工事に着手します。

3. 道路事業

○一般国道9号関連

予算額 1, 330百万円

一般国道9号のバイパスは、環日本海交流の基幹軸の一翼を担うとともに、緊急時における代替ルートの確保による円滑・迅速な活動の支援、交通隘路区間の解消による経済活力の増進、及び交流・連携を促し地域の活性化にも寄与する高規格な道路として事業しており、下記箇所に今回補正予算を充当し促進します。

1) 名和・淀江道路

【資料編 倉吉-3】

残りの約4.3km区間について、水路橋・構造物設計、小竹・松河原・豊成の跨道橋、長野地区・下木料地区等の改良工事を促進します。

2) 中山・名和道路

【資料編 倉吉-4】

橋梁構造物等の設計、八重地区等の改良工事を促進します。

○道路管理関連

予算額 432百万円

1) 9号道路構造物保全対策

【資料編 倉吉-5】

国道9号の安全・円滑な交通を確保するため、定期的に橋梁の点検を行っています。平成21年度の補正予算では、点検において「速やかに補修が必要である」と判定された米子市及び琴浦町の3橋梁について、補修設計を実施します。

2) 交通安全施設等整備事業

交通安全施設等整備事業は補正予算により、道路付属物、道路情報板の更新等の整備を進めます。

日野川河川事務所

平成 21 年度補正予算の概要

日野川河川事務所

1. 河川事業

予算額 295百万円

1) 日野川 溝口地区

【資料編 日野川-1】

伯耆町溝口地区において、無堤区間の解消を図るため、引き続き築堤、護岸工事を行います。

2) 日野川 浦津地区

【資料編 日野川-2】

米子市浦津地区において、洪水時に漏水により堤防が崩落するのを防ぐため、引き続き堤防の質的整備を行います。

3) 日野川・法勝寺川

日野川及び法勝寺川において、洪水時の河道流下能力を向上させるため、河床掘削及び河道内樹木の伐採を行います。

2. 砂防事業

予算額 100百万円

1) 大山山系日野川 吉原砂防堰堤

【資料編 日野川-3】

江府町貝田地内において、荒廃の進む小江尾川の整備として砂防堰堤の改良工事に着手します。

3. 海岸事業

予算額 495百万円

1) 皆生海岸

施設効果が低下している富益工区の人エリーフの補強等により、安定した海浜の確保を目指した侵食対策を行います。

4. ダム事業

予算額 119百万円

1) 菅沢ダム

ダム直下流の法面において、落石の危険性から小規模放流設備を守るため、落石防止対策を行います。

境港湾・空港整備事務所

平成21年度補正予算の概要

境港湾・空港整備事務所

1. 空港事業

○美保飛行場（米子空港）整備事業

予算額 385百万円

1) 滑走路延長事業

【資料編 境-1】

美保飛行場は、東京便を中心に旅客数が順調に増加しており、今後の更なる航空需要の増加に伴い、大型機就航のニーズが高まると考えられます。大型機の就航を可能とするため、滑走路を2,500mに延長する事業を推進します。



国土交通省
中国地方整備局
<http://www.cgr.mlit.go.jp>

お知らせ
平成21年 6月11日
資料提供先：鳥取県政記者クラブ

平成21年度補正予算概要 中国地方整備局関係(鳥取県内)

資料編

鳥取河川国道事務所
倉吉河川国道事務所
日野川河川事務所
境港湾・空港整備事務所

【問い合わせ先】

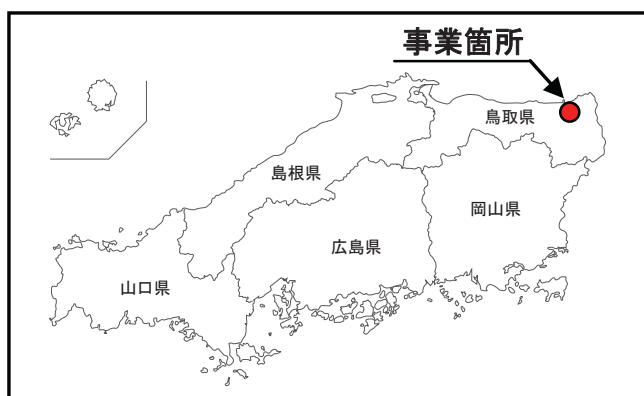
鳥取河川国道事務所	(技)副所長	かくだ 角田	TEL 0857-22-8435(代)
倉吉河川国道事務所	(技)副所長	よしおか 吉岡	TEL 0858-26-6221(代)
日野川河川事務所	(技)副所長	うえはし 上橋	TEL 0859-27-5484(代)
境港湾・空港整備事務所	(技)副所長	くわな 桑名	TEL 0859-42-3145(代)

鳥取河川国道事務所

事業推進

千代川右岸国英地区の堤防は国道53号が兼用しており、交通の要所となっていますが、堤防高が不足しているため、戦後最大相当の出水が発生した場合には国道53号、背後地にある人家連担地域が浸水する恐れがあるため早急に築堤を行う必要があります。

平成17年度より事業を実施しており、今回の補正予算の充当により概成します。

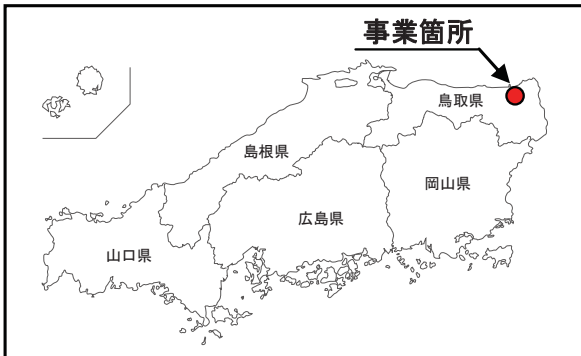


期待される整備効果

築堤工事により、戦後最大相当の出水が発生した場合の国道53号冠水、背後地の浸水被害を解消します。

事業推進

当該箇所は千代川と同規模の支川八東川との合流点かつ水衝部に位置していますが、戦後最大洪水が発生した場合には、堤防高不足、河積不足の影響により越水し、家屋の浸水をはじめ、主要道路の国道53号及び、旧河原市街地が浸水することより早急に対策を行う必要があります。また、裏法からの漏水実績があり、堤内地への漏水被害解消のため、質的整備を実施します。



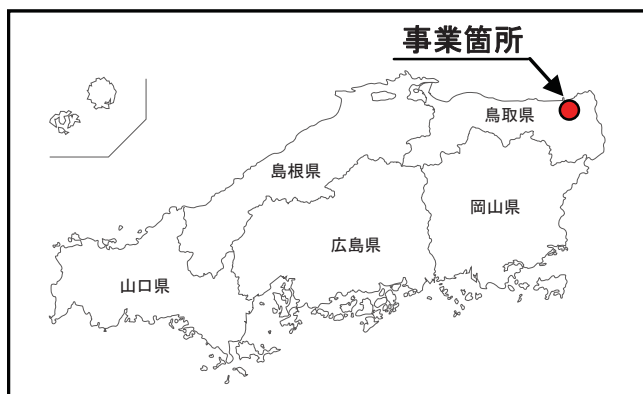
期待される整備効果

築堤により必要堤防高さを確保、治水上のネック箇所を解消し、戦後最大相当の出水による浸水被害を解消します。

事業推進

千代川左岸渡一木地区の堤防は、裏法からの漏水実績があり、また、法勾配が急で、過去に崩落が発生し不安定な状況である。

堤体の安定化と定規断面の確保を行うため、堤防の質的整備および断面拡大を実施します。



期待される整備効果

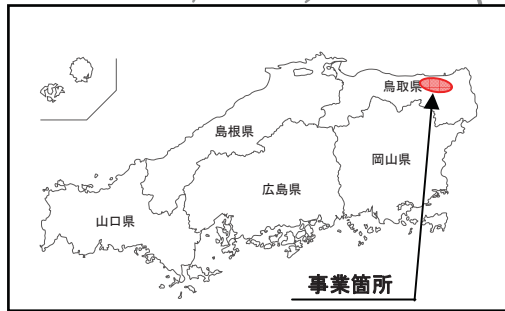
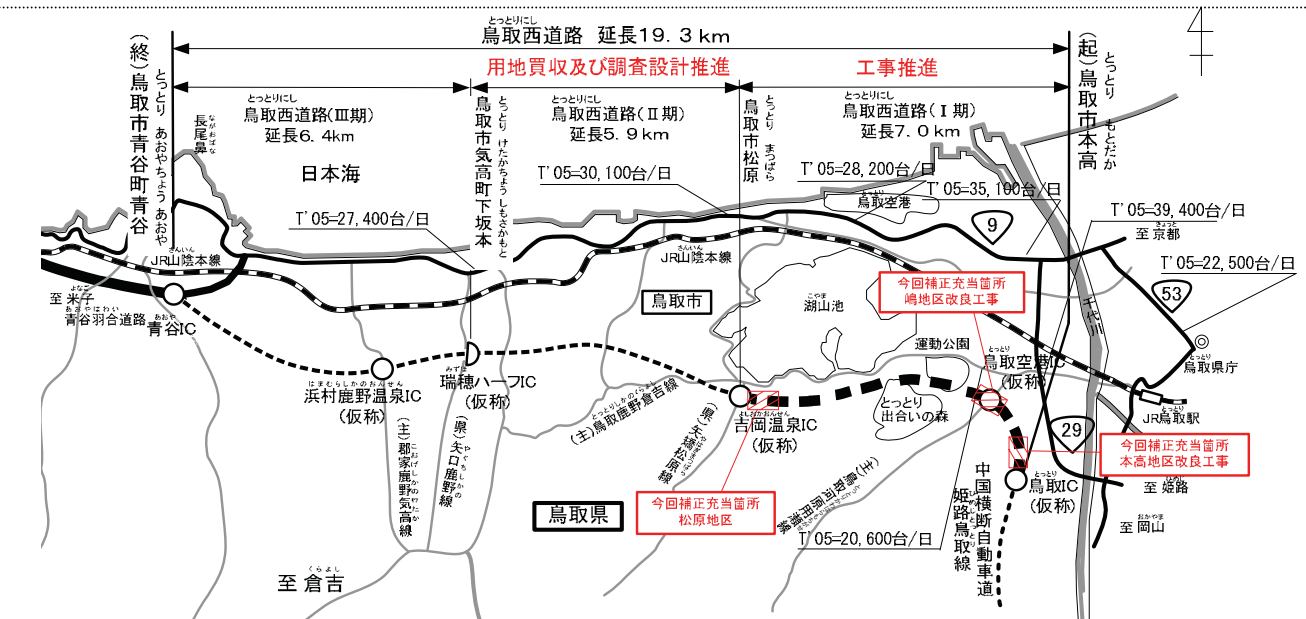
築堤工事により、堤体の安定化と定規断面の確保を行うことにより、戦後最大相当の出水による浸水被害を解消します。

一般国道9号 鳥取西道路

事業費 1,120百万円

事業推進

一般国道9号の鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的としたL=19.3kmの自動車専用道路の国道バイパスです。今回の補正予算の充当により、I期区間の本高地区・松原地区文化財調査のための工事用道路、本高地区・嶋地区改良工事、II期区間の用地買収及び調査設計を行い、事業の推進を図ります。



鳥取空港IC(仮称)から瑞穂ハーブIC(仮称)を望む



鳥取IC(仮称)から吉岡温泉IC(仮称)を望む

期待される整備効果

移動時間の短縮

鳥取西道路の整備により、移動時間の短縮が図れます。そして、青谷羽合道路と連結することで、鳥取県東部地域と中部地域の交流が盛んになり、地域経済の活性化を促します。

さらに、山陰道が全線整備されると、より広域的な産業振興や生活圏域の拡大が期待されます。



※1) 鳥取市役所から米子市役所まで
 ※2) 鳥取駅から青谷町総合支所まで

幹線道路ネットワークの形成

鳥取西道路は、鳥取自動車道や青谷羽合道路と連携することにより、県内の幹線道路ネットワークが形成されます。これにより、中四国地方や京阪神地方との広域的な交流・連携が強化され鳥取県東部地域の産業を活性化するとともに生活圏域の拡大を促し、鳥取県の経済や文化の発展に役立つことが期待されます。



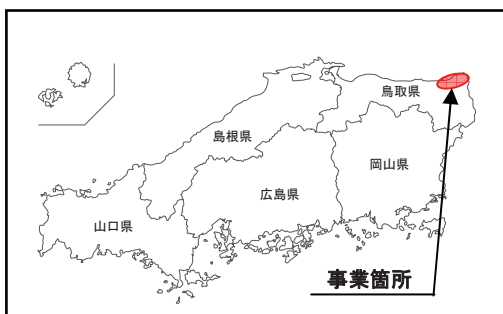
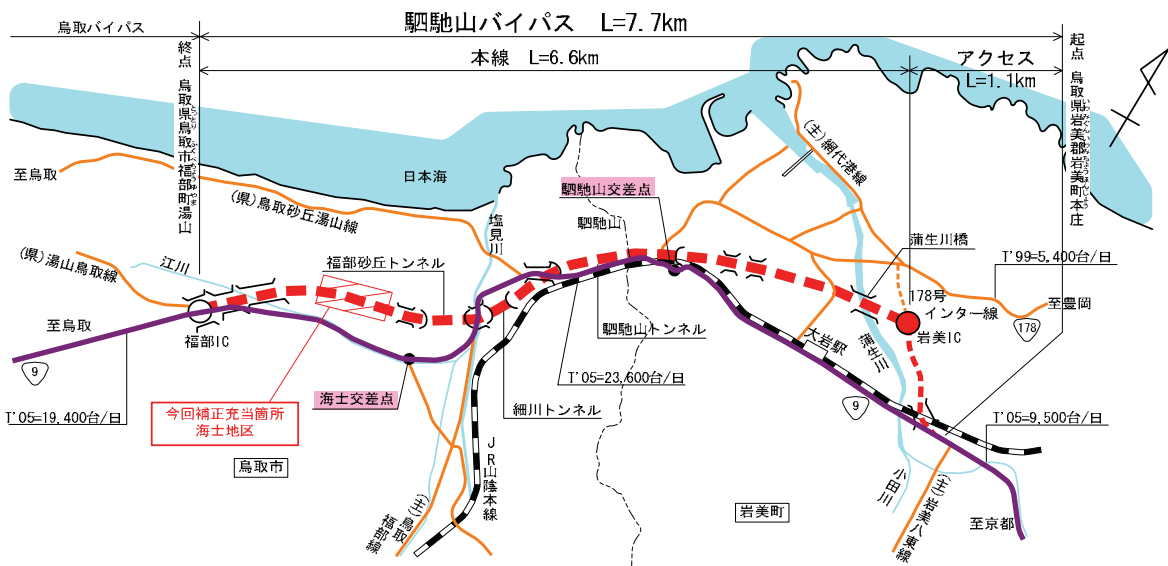
一般国道9号 駒馳山バイパス

しちやま

事業費 658百万円

事業推進

一般国道9号の岩美郡岩美町から鳥取市福部町間の交通安全の確保及び峠部の線形不良箇所の解消を目的とする道路です。今回の補正予算の充当により、海士地区において改良工事を行い、事業の推進を図ります。



岩美IC付近から西方面を望む

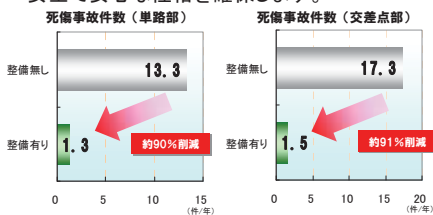


大谷地区から岩美IC方面を望む

期待される整備効果

安全で信頼性の高い道路ネットワークの確保

災害や緊急時における代替路を整備し、安全で安心な性格を確保します。

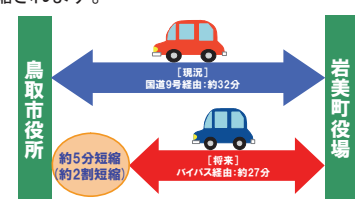


※整備なし、整備あり時の交通量はH42交通量推計結果による
 ※算出方法は『交通事故減少便益原単位の改定案について』
 ;H15.3国土交通省』による



移動時間の短縮

駒馳山バイパスの整備により、所要時間が5分短縮されます。



※現況：H17年度道路交通センサ混雑時旅行速度より算出
 将来：駒馳山バイパス本線の旅行速度80km/h、アクセス部の旅行速度60km/hとして算定

一般国道9号 はくとぼし 白兔橋補修

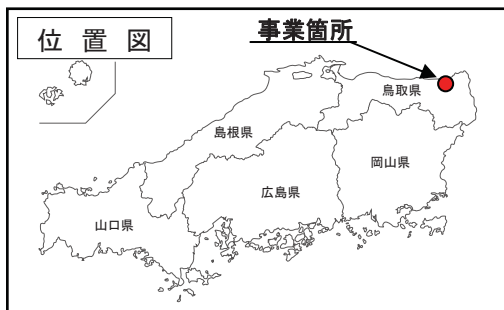
事業費60百万円

新規着手

一般国道9号は、きょうと京都市としものせき下関市を結ぶ主要幹線道路であり、地震災害時における緊急輸送を確保するための第1次緊急輸送道路に指定されています。

白兔橋は、昭和35年に架設された橋長約9mの橋梁です。この付近の国道9号の交通量は、約30,100台/日となっています。当該橋梁は、主桁及び下部工のコンクリート剥離や鉄筋の露出等の損傷が発生しており、この損傷が進行すると、通行に支障をきたす恐れがあります。

今回の補正予算の充当により、上部工及び下部工のコンクリート断面修復等の工事を行い、橋梁の長寿命化を図ります。



鳥取県鳥取市白兔地内



損傷写真

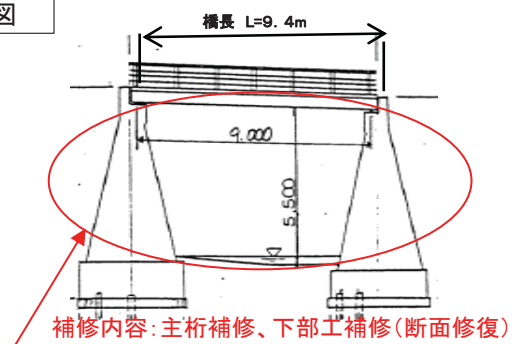


主桁の剥離・鉄筋露出



下部工の剥離・鉄筋露出

側面図



期待される整備効果

橋梁の機能が保たれ、安全で円滑な交通確保や災害発生時等の支援物資の輸送、救急活動等に活用され、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道9号 溝川交差点改良

みぞかわ

事業費 6百万円

新規着手

鳥取市伏野に位置する当該区間は、国道9号と県道伏野覚寺線が合流する交差点です。交差点付近の道路線形が悪く、その影響で続きの単路区間において交通事故が多発しており、事故危険箇所に指定されています。また、末恒すえつね小学校の通学路に指定され、206人が通学していますが、一部区間において歩道幅員が0.8m程度と狭いため、大変危険な状況です。このため、交差点内の道路線形の改良及び歩道の一部拡幅を行い、交通事故の低減と歩行者の安全を確保します。

今回の補正予算の充当により、設計に着手し、早期に交通の安全確保を図ります。



位置図



交差点改良及び歩道拡幅

現況写真

国道9号鳥取県鳥取市伏野地内



見通しの悪い交差点

現況



片側の歩道が狭いため、通学児童が道路横断するまでに危険が伴う。

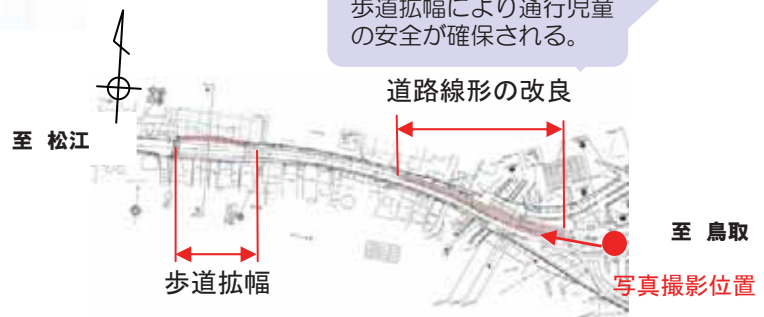
計画

鳥取方面から松江方面を望む



歩道拡幅により通行児童の安全が確保される。

道路線形の改良



期待される整備効果

- 道路線形の改良により交通事故の減少が見込まれます。
- 歩道が広幅員となり、通学児童の安全が確保されます。

一般国道9号 馬場地区歩道整備

事業費 9百万円

新規着手

岩美町馬場に位置する当該区間は、国道9号の県境付近に位置する区間で、現在両側に歩道がなく、歩行者の通行に支障が出ています。また、周辺部落との連絡の支障になっているため、地元より強い歩道整備要望が出ている区間です。

そのため、国道に歩道を整備し、歩行者の安全を確保します。今回の補正予算の充当により、設計に着手し、早期に交通の安全確保を図ります。



位置図



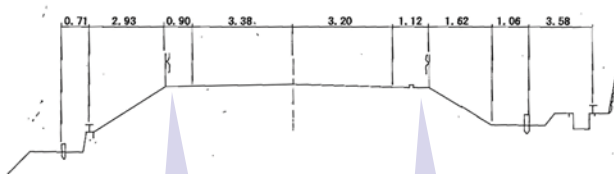
現況写真

国道9号岩美郡岩美町馬場地内



両側に歩道がない現況

現況



両側に歩道がない。歩行者は路肩を歩くため危険が生じている。

計画



のり面に構造物を用いて歩道幅員を確保。

歩道新設

期待される整備効果

- 歩行者の安全が確保されます。

一般国道29号 大門地区歩道整備

だいもん

事業費 1200万円

新規着手

八頭町大門に位置する当該区間は、国道29号の上り線にしか歩道のない区間です。歩道幅員が狭く、郡家西小学校の通学路として使用している児童の通行に支障が出ています。

また、路肩幅員が狭いため、歩行者のすぐそばを車両が走行するため歩行者の安全が確保されていません。

そのため、現況歩道の拡幅を行い、同時に路肩を正規な幅員で整備することによって、歩行者の安全を確保します。

今回の補正予算の充当により、工事に着手し、早期に交通の安全確保を図ります。



位置図



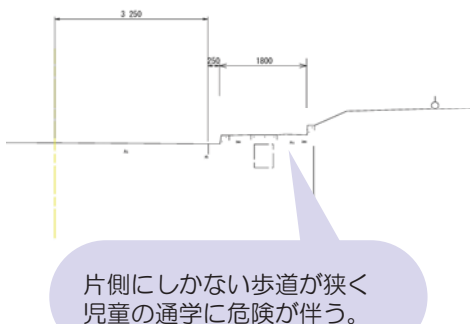
現況写真

国道29号八頭郡八頭町大門地内

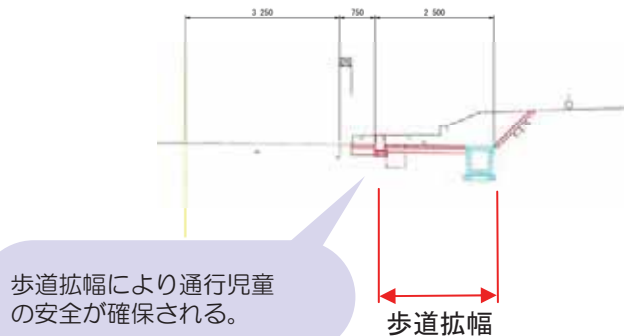


幅の狭い歩道

現況



計画



期待される整備効果

- 歩道が広幅員となり、通学児童の安全が確保されます。

倉吉河川国道事務所

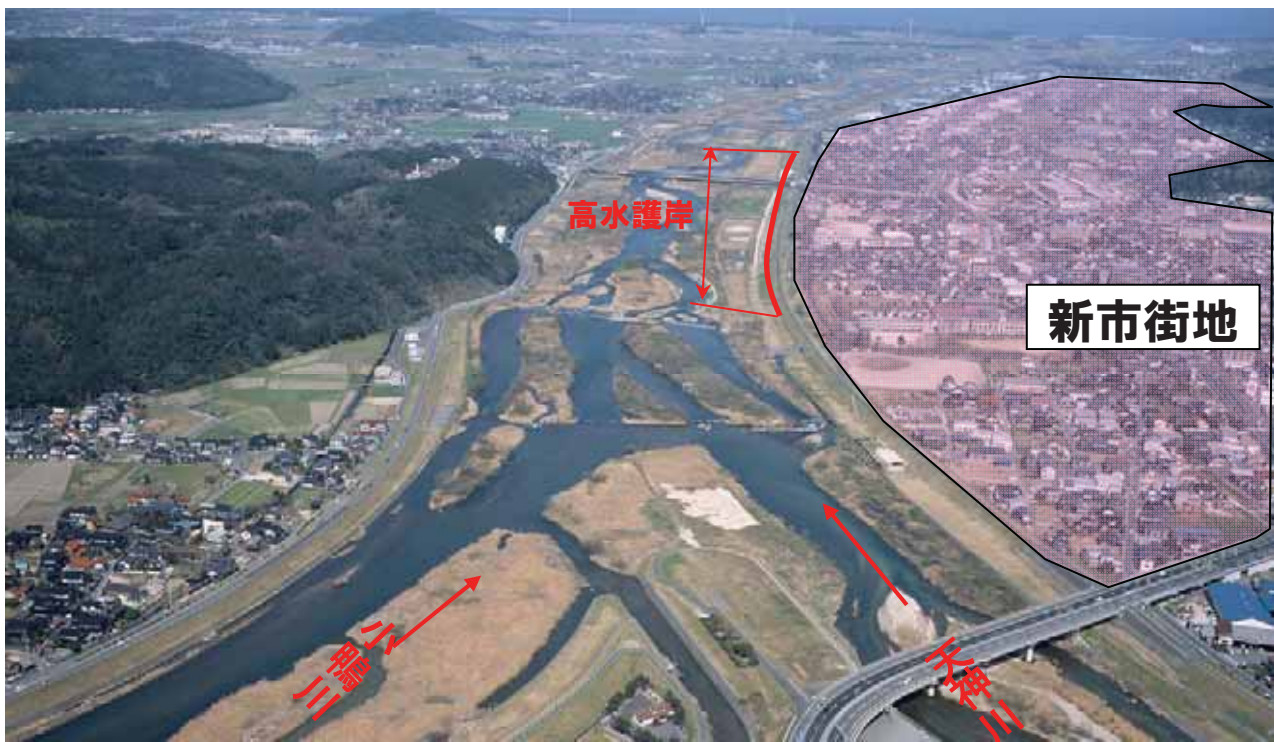
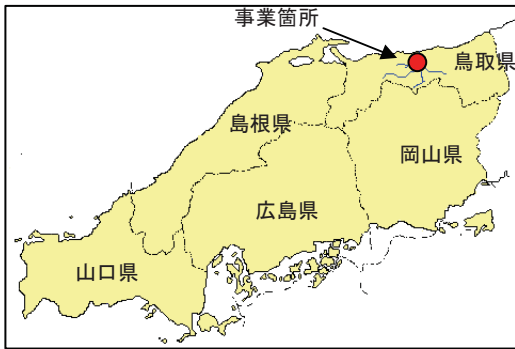
高水護岸整備（上井箇所）

あげい

事業費 205百万円

事業進捗

一級河川天神川は、昭和9年の室戸台風で甚大な浸水被害が発生したため、昭和10年から河川改修事業に着手した。上井箇所は、天神川と小鴨川の合流点下流の水衝部であり、また、背後地には新市街地があるため、近年の異常豪雨による出水対策として、早急に高水護岸の整備が望まれている。



期待される整備効果

高水護岸を整備することにより、天神川、小鴨川の合流点より下流について、戦後最大相当の洪水に対する堤防安全度を向上させることができる。

だいせん

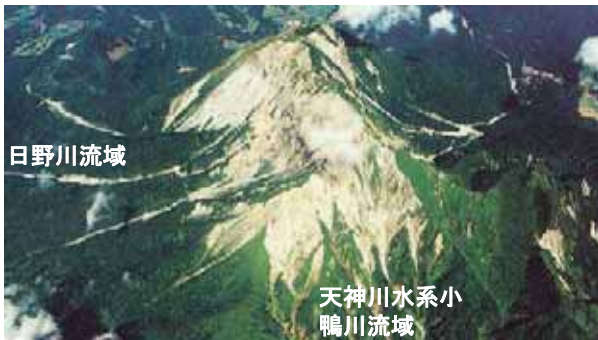
大山山系直轄砂防事業

事業費 276百万円（日野川 100百万円、天神川 176百万円）

事業推進

中国地方随一の高峰である^{だいせん}大山は、解体期を迎え源頭部の崩壊が著しく、山麓斜面には脆弱な火山堆積物や風化花崗岩が広く分布しており、土砂流出による災害発生の危険性が高い状況にあります。

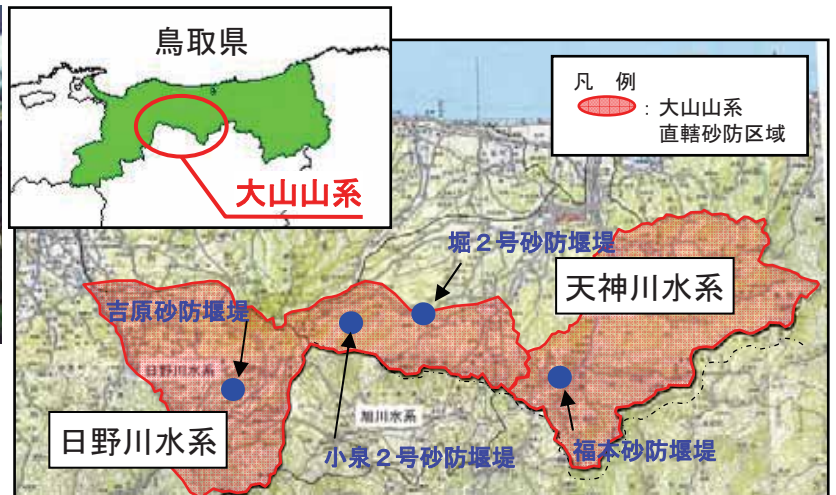
大山山系直轄砂防事業は、砂防えん堤等の整備により、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、下流の人家等を土石流の被害から保全するものです。



日野川流域

天神川水系小
鴨川流域

▲解体期にあり崩壊が進む大山



鳥取県

大山山系

凡例
○ : 大山山系
直轄砂防区域

堀2号砂防堰堤

天神川水系

吉原砂防堰堤

日野川水系

小泉2号砂防堰堤

福本砂防堰堤



▲大山環状道路への土砂流出状況



▲H10台風10号による被災状況

H21補正主要事業箇所

平成20年度末時点



渓流保全工を完成させ、
事業を完了します

付替道路

小泉2号砂防堰堤

小泉地区

期待される整備効果

平成21年度補正予算により、小泉2号砂防えん堤等を予定よりも早期に完成することが可能となり、下流域の安全性が向上します。

一般国道9号 名和・淀江道路

事業費900百万円

事業推進

一般国道9号名和・淀江道路は、西伯郡大山町周辺における交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、西伯郡大山町下市から同町安原に至るL=12.1kmの道路です。今回の補正予算の充当により、構造物設計、小竹・松河原・豊成の跨道橋及び長野地区・下木料地区等の改良工事を推進し、事業の推進を図ります。

位置図



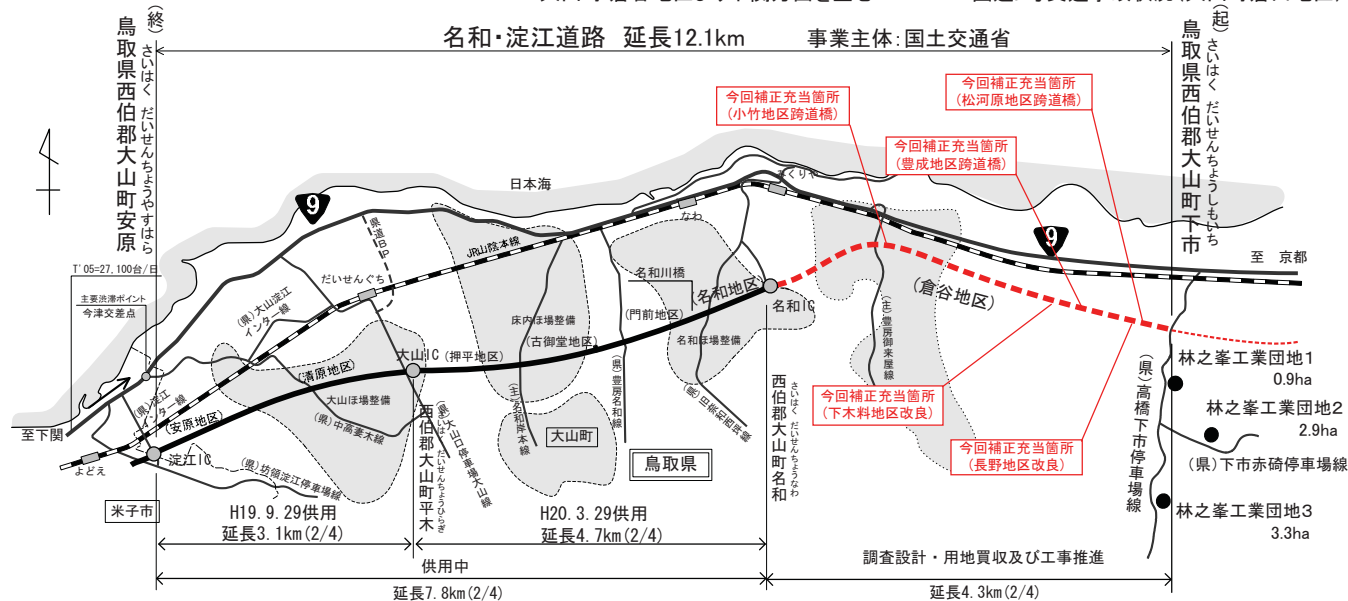
進捗状況写真



大山町 倉谷地区より下関方面を望む



国道9号交通事故状況(大山町倉田地区)



期待される整備効果

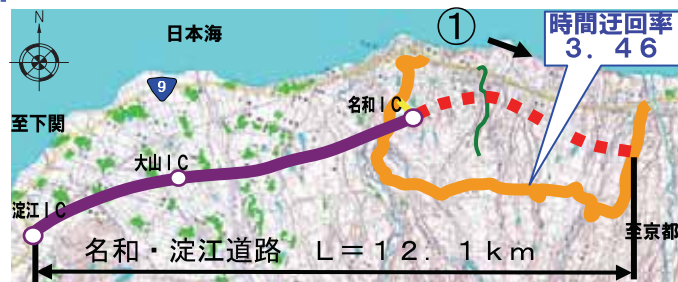
効果1) 『都市間の連携強化』

名和・淀江道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



効果2) 『災害時の緊急輸送道路の代替機能確保』

国道9号の大山町周辺では、通行止めが発生した場合、大きな迂回を強いられる。名和・淀江道路の整備により、代替道路機能が確保され、安全で信頼性の高いネットワークが確保されます。



一般国道9号 中山・名和道路

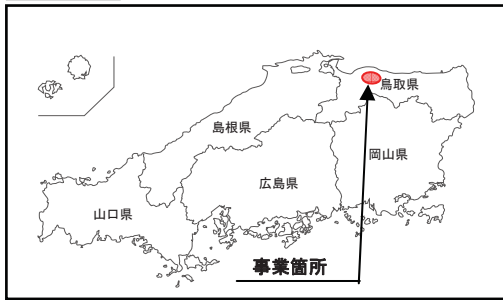
なかやま なわ

事業費430百万円

事業推進

一般国道9号の鳥取県西伯郡大山町周辺における交通安全の確保及び災害や重大事故等の非常時における代替路の確保を目的とした延長4.3kmの自動車専用道路の国道バイパスです。今回の補正予算の充当により、橋梁・構造物等の設計、八重地区等の改良工事を推進し、事業の推進を図ります。

位置図



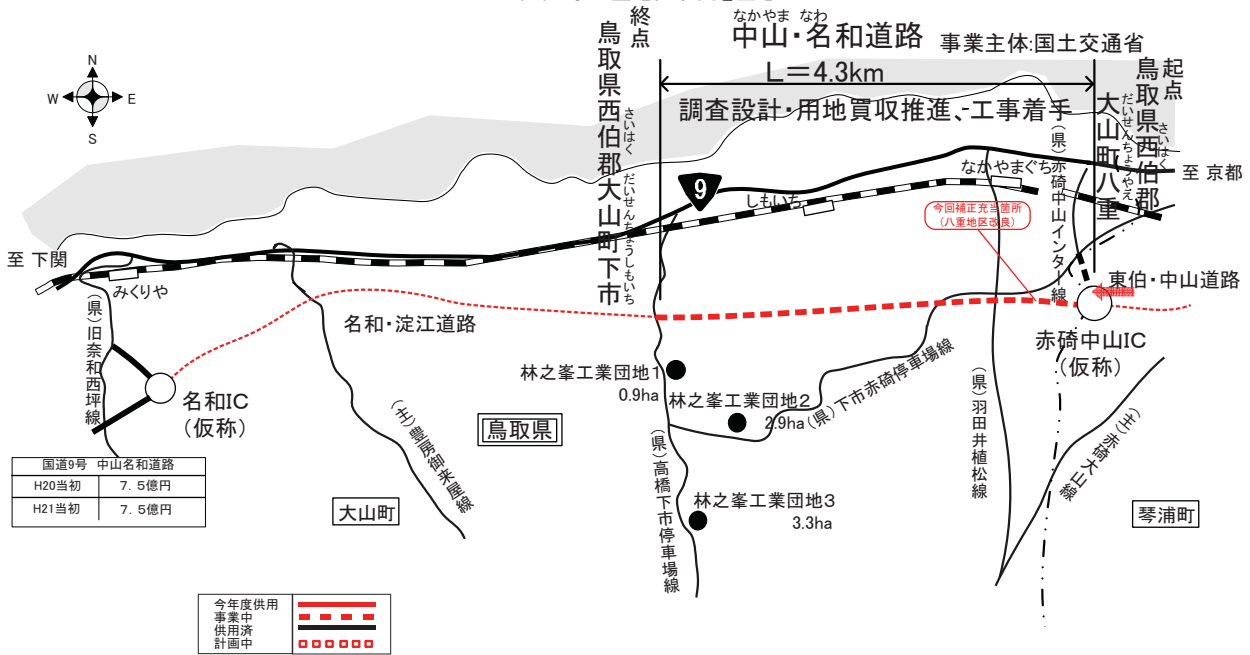
進捗状況写真



大山町 八重地区以西を望む



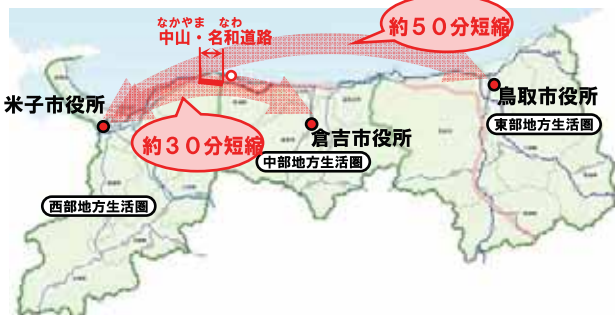
国道9号(大山町上市付近)交通事故状況



期待される整備効果

効果1) 『都市間の連携強化』

中山・名和道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



効果2) 『災害時の緊急輸送道路の代替機能確保』

国道9号の大山町周辺では、通行止めが発生した場合、大きな迂回を強いられる。中山・名和道路の整備により、代替道路機能が確保され、安全で信頼性の高いネットワークが確保されます。

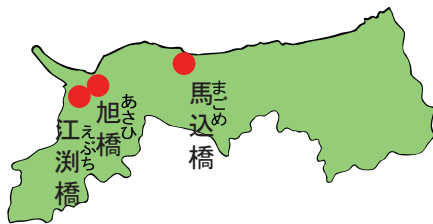


9号道路構造物保全対策 よなご 米子地区橋梁補修設計

事業費20百万円

国道9号の安全・円滑な交通を確保するため、定期的に橋梁の点検を行っています。点検において「速やかに補修が必要である」と判定された米子市及び琴浦町の3橋梁(江渚橋・旭橋・馬込橋)について、補修設計を実施します。

【位置図】



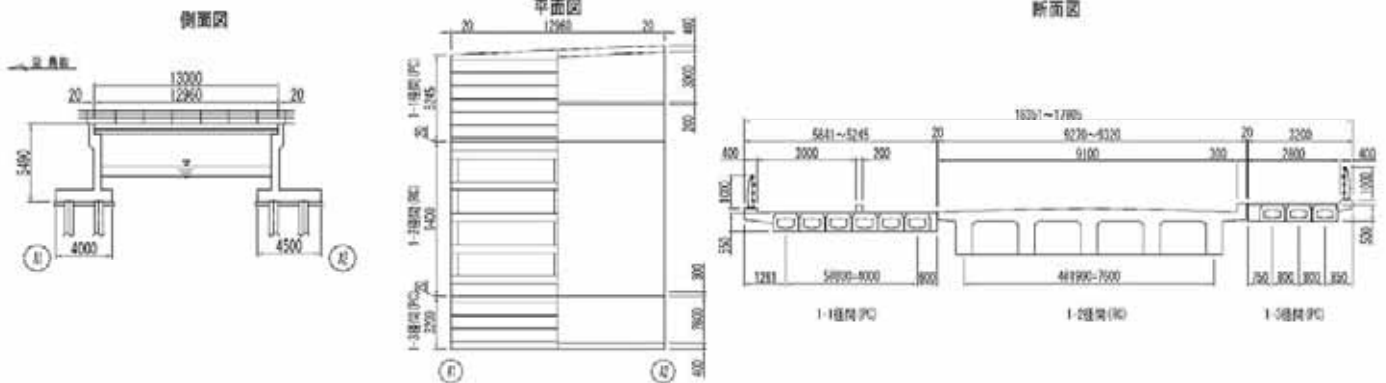
【写真: えぶち江渚橋全景】



【写真: えぶち江渚橋損傷状況】



【図面: えぶち江渚橋一般図】



日野川河川事務所

ひのがわ みぞぐち
日野川改修事業（溝口地区）

事業費 106百万円

事業推進

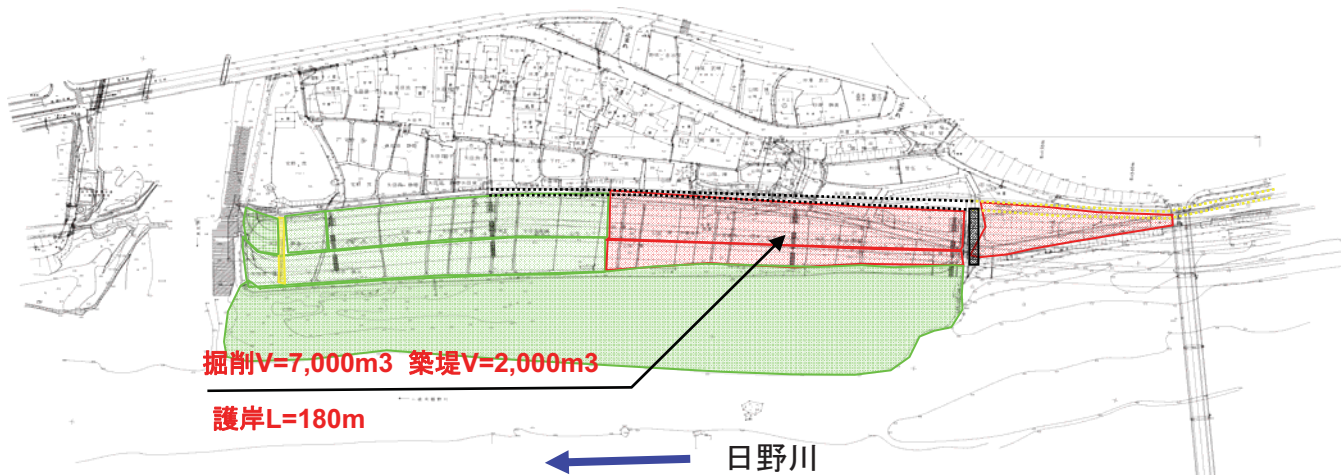
位置図



日野川の改修は、当面、戦後最大洪水(S20.9 1/20相当)を安全に流下させることを目標に下流から整備を進めており、H17年度迄に立岩箇所までが概成しています。

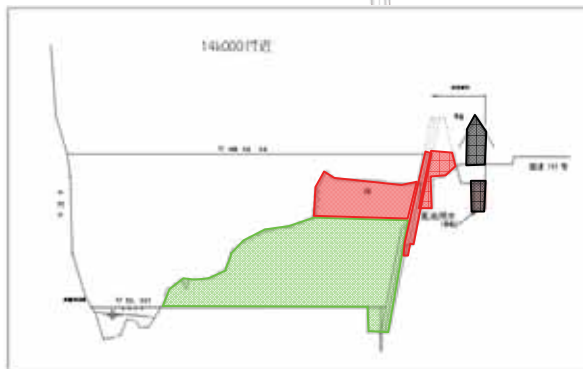
日野川右岸上流部の溝口地区においては、局所的に無堤部が存在しており、H18年においては、現在の敷地高まで水位が上昇し近隣の住民は不安を抱えています。

戦後最大洪水が発生した場合には、堤防高不足、断面不足の影響により越水し、家屋の浸水をはじめ、主要幹線道の国道181号が浸水します。また、計画高水時には、JR伯備線、及び高速自動車道への幹線となっている倉吉江府溝口線の通行が遮断され、被害が甚大となることから、早期の対策が望まれています。H18年度から着工し、H21年度補正予算では引き続き、掘削・築堤、護岸を行ないます。



凡 例	
H20年度まで	黒色
H21年度当初	黄色
H21年度補正	赤色
H22年度以降	緑色

期待される整備効果



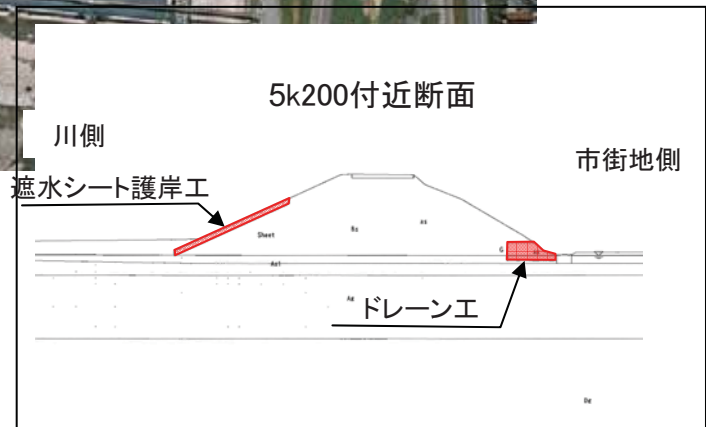
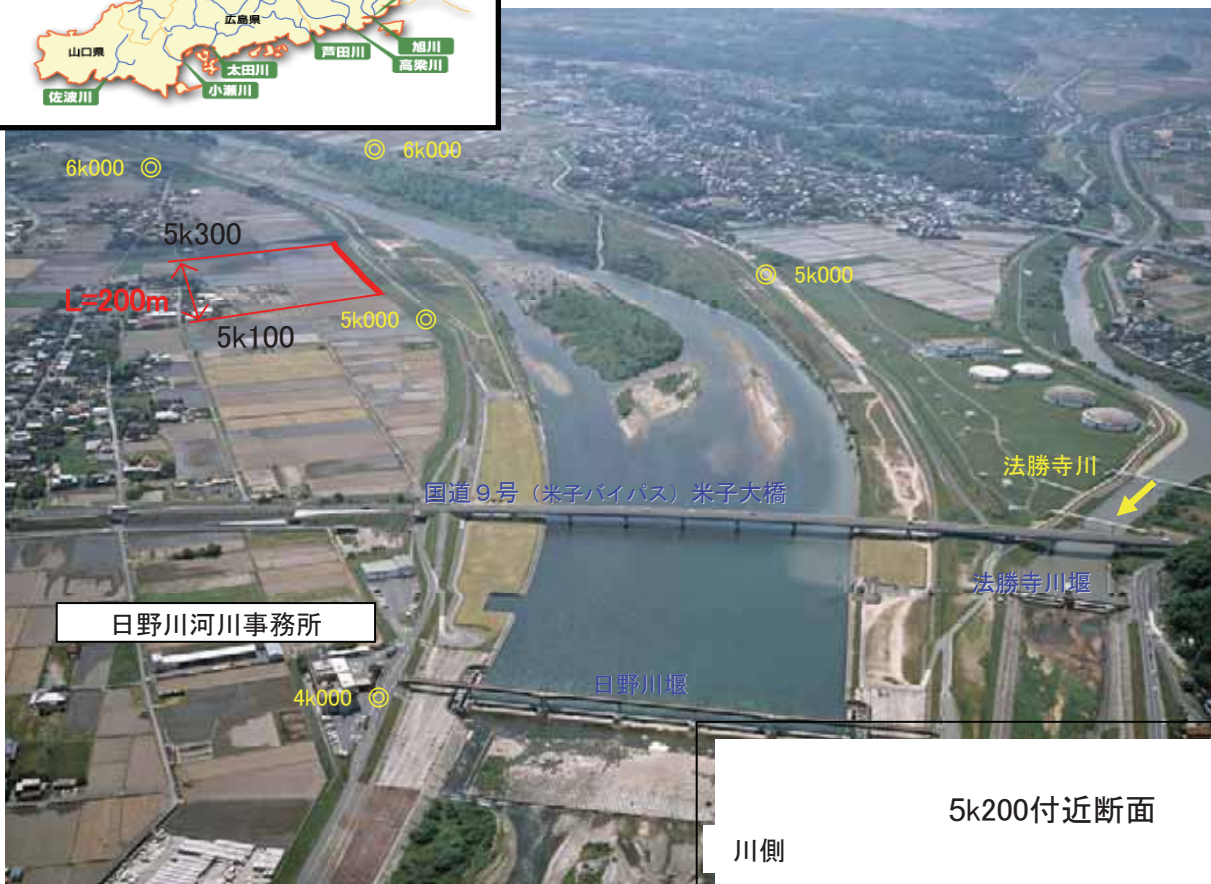
治水上のネック箇所を集中的に進め、戦後最大規模の洪水による浸水被害を軽減します。

事業推進

日野川浦津地区の堤防(右岸5k200付近)は、堤防詳細点検の結果から、計画高水位まで水位が上昇した場合、堤防の居住地側斜面が崩落するなどの危険性があります。このため、堤防の居住地側斜面の崩落や、漏水による破堤などの被害が発生するのを防ぐため、堤防の中にしみ込んだ水を堤防外に早期に排出するためのドレーン工や、水を浸透させないための遮水性シートを張った護岸を施工します。

H19年度の補正予算から、日野川管内で一番優先度が高いと判断された本地区に着手していますが、今回の補正予算でさらに延伸を行います。

位置図



期待される整備効果

はんらん危険水位まで川の水位が上昇しても、堤防が破壊に至ることのない強度を保つことが出来ます。

だいせん

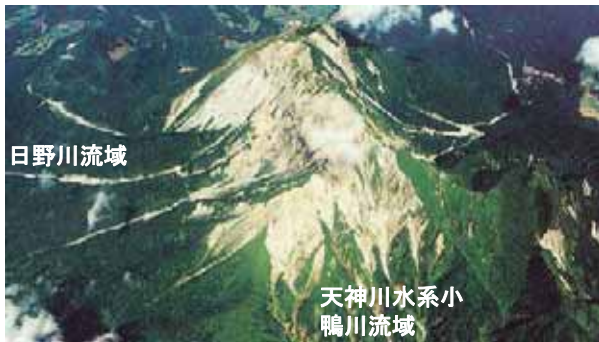
大山山系直轄砂防事業

事業費 276百万円（日野川 100百万円、天神川 176百万円）

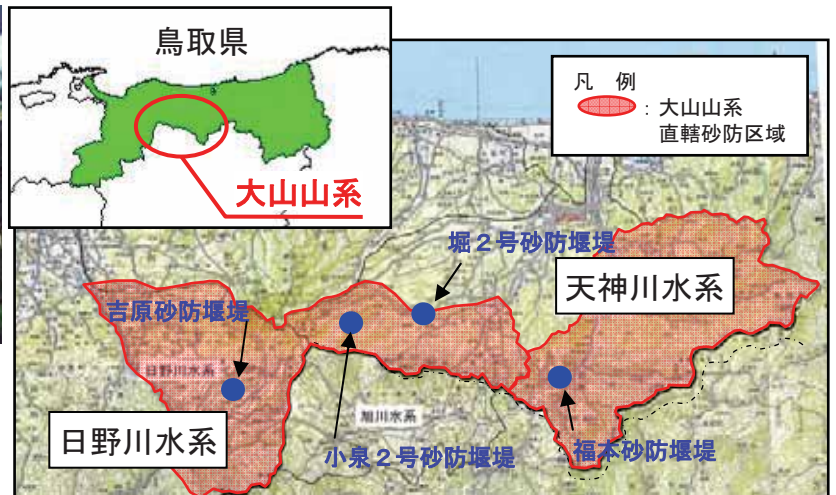
事業推進

中国地方随一の高峰である^{だいせん}大山は、解体期を迎え源頭部の崩壊が著しく、山麓斜面には脆弱な火山堆積物や風化花崗岩が広く分布しており、土砂流出による災害発生の危険性が高い状況にあります。

大山山系直轄砂防事業は、砂防えん堤等の整備により、下流域を土砂流出に伴う洪水氾濫から保全するとともに、下流の人家等を土石流の被害から保全するものです。



▲解体期にあり崩壊が進む大山



▲大山環状道路への土砂流出状況



▲H10台風10号による被災状況

H21補正主要事業箇所



平成20年度末時点

渓流保全工を完成させ、事業を完了します

期待される整備効果

平成21年度補正予算により、小泉2号砂防えん堤等を予定よりも早期に完成することが可能となり、下流域の安全性が向上します。

境港湾・空港整備事務所

みほ よなご
美保飛行場(米子空港)の滑走路延長事業 事業費 385百万円

事業推進

美保飛行場は東京便を中心に旅客数が順調に増加しており、今後の更なる航空需要の増加に伴い、大型機就航のニーズが高まると考えられます。大型機の就航を可能とするため、滑走路を2,500mに延長する事業を推進します。

滑走路2,500m化により就航可能になる航空機

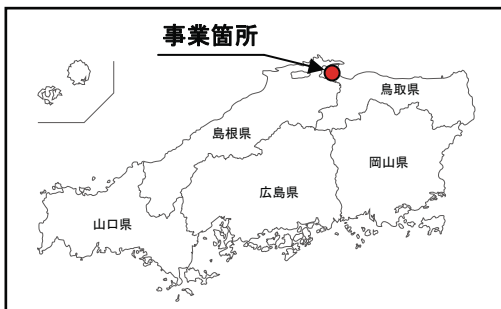


B777 ● 航続距離 4,300km・4,500km
● 座席数 405席～524席

現在就航している航空機



B767-300 ● 航続距離 3,370km
● 座席数 216席・279席



期待される整備効果

美保飛行場に大型機の就航が可能となり、航空需要の増加に対応することが可能となります。またエプロン誘導路を整備することで、大型機就航時の利便性や安全性の向上が図れます。